

2(2) その他、特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果、世界的位置付けなど。(※評価年次報告「卓越した教育研究大学へ向けて」で報告する内容)

特筆すべき教育活動

1. 平成20年度より、大学院先行履修科目を3科目(心理学研究法、教育実践論特論Ⅰ、教育測定論)設置し、大学院進学を目指す4年生に開放した。平成21年度には教育課程論、教育評価論を先行履修科目として追加し、学部教育と大学院教育の接続と連続性を高めた。平成21年度は延べ7名の学生が先行履修を行っている。
2. 大学院教育改革支援プログラム「実践指向型教育専門職の養成プログラム」において、理論と実践を架橋し、現実的な教育課題の解決能力を備えた教育専門職の養成という観点から、通常の授業におけるTAとは別にTAを採用し、授業の改善とTAの資質向上を行った。TAに対するワークショップ型研修の実施、TAとの授業プログラムの共同開発、TAによる学習支援などを試みた。
3. 外国人教師(ロンドン大学教員)を非常勤講師として採用し、学部生・大学院生を対象として比較教育学の演習において英語による授業を行った。
4. 大学院生(董存梅)が、「幼児の自己制御の発達に関する日中の比較文化的研究」の功績で、日本乳幼児教育学会の学会賞(研究奨励賞)を受賞した。

特筆すべき研究活動

1. 大学院GPにおいて、教員による学際的プロジェクト型共同研究3件を実施し、教育と共に研究面で先端的知見を提供した。(教育学研究科『平成20年度大学院教育改革支援プログラム・実践指向型教育専門職の養成プログラム・プロジェクト型共同研究 成果報告書』2009年3月)
2. 教育ネットワークセンター支援の先端的プロジェクト型研究を4件実施した。その成果は、教育学研究科『教育ネットワークセンター年報』第9号、2009年3月に掲載されている。
3. 国際シンポジウムの開催:「イギリス労働党の教育政策と中等教育」(2008.7.14)、「地域社会と学校の協働による授業づくり」(2009.1.4)を、大学院教育改革支援プログラムの一環として実施した。
4. 加藤守通教授は、イタリア・ノラ市で地域文化活動振興に関する招待講演(Biennale Bruniana: l'elogio dell'incertezza)をおこなった。(2009.4.15~19)

特筆すべき社会貢献活動等

1. 宮城県内4高校(第二女子高等学校、宮城野高等学校、仙台高等学校、女川高等学校)に対して教育研究連携校を委嘱し、共同研究及び実習等の事業を実施した。
2. 宮城県及び仙台市教育委員会と協定を結び、他学部の学生も含めた「学校ボランティア」を組織し、各小中高等学校に派遣した。
3. 東北六県及び新潟県の幼小中高教員を対象とした第44回「教育指導者講座」を実施した。
4. 教員免許更新制度の発足に伴い2009年7月に全学に先駆けて更新講習(受講者31名)を開講した。
5. 谷口和也准教授は、モンゴルにおける教育改革活動支援の功績で、モンゴル教育文化科学大臣より感謝状を授与された